

# 日本における独自の展開を概観する

わが国の文化経済学研究はいかなる発展を遂げてきたか。  
多彩な学術アプローチと重要なトピックの論点を整理する。

文化経済学会〈日本〉編

# 文化経済学 軌跡と展望

ISBN978-4-623-07688-8 C3033 A5判上製カバー400頁 本体6000円(税別) 2016年6月刊行

本書は、日本で独自の発展を遂げてきた文化経済学の歩みを振り返り、多彩な文化経済研究の全体像を提示するものである。文化経済学会〈日本〉が誕生して20余年、いかなる研究成果が生まれてきたか。第一線の研究者たちがその概要を示し、研究のこれからを展望する。文化経済、文化政策、コンテンツ産業、アートマネジメントなど関連分野の研究者のみならず、実務で関わる人、文化に関心を持つ一般読者に役立つ一冊である。



- ◎ 文化経済学研究の概要がよくわかる。
- ◎ 文化経済学の近接領域も取り上げている。

はじめに——文化経済学の発展を振り返る

## 第I部 文化経済学の基本的課題

- 第1章 参加・鑑賞……………勝浦正樹・有馬昌宏
- 第2章 需要・選好……………阪本 崇
- 第3章 芸術家とクリエイターの労働市場…八木 匡
- 第4章 文化の財政……………片山泰輔
- 第5章 芸術・文化への税制による支援…後藤和子

## 第II部 文化芸術分野

- 第6章 舞台芸術と劇場……………清水裕之
- 第7章 ミュージアム……………佐々木亨
- 第8章 伝統芸能……………山田太門・高島知佐子
- 第9章 伝統工芸……………高島知佐子・山田太門
- 第10章 文化遺産・遺跡……………澤村 明
- 第11章 アートプロジェクト…熊倉純子・長津結一郎
- 第12章 現代美術……………加須屋明子
- 第13章 クリエイティブ産業…後藤和子・増渕敏之

## 第III部 都市・地域への展開

- 第14章 創造都市……………佐々木雅幸
- 第15章 まちづくり……………勝又晃衣・勝又英明
- 第16章 観光と地域文化……………井口 貢

## 第IV部 支援・政策・運営

- 第17章 文化政策・文化行政……………小林真理
- 第18章 企業メセナ……………河島伸子
- 第19章 アートマネジメント……………伊藤裕夫
- 第20章 人材育成……………新藤浩伸
- 第21章 アウトリーチ……………吉本光宏

## 第V部 多様な学術分野との連携

- 第22章 社会学からのアプローチ……………友岡邦之
- 第23章 経済思想史からのアプローチ……………木村雄一
- 第24章 美学・芸術学からのアプローチ……………美山良夫

索引

### 《编者紹介》文化経済学会〈日本〉(ぶんけいけいざいがっかい 〈にほん〉)

Japan Association for Cultural Economics

文化および芸術に関する社会・経済問題の研究を促進するために、その分野にたずさわる研究者、実務者等による研究成果の発表と相互交流を行い、それらを通して文化に関する系統的な社会・経済学研究の発展と教育の普及に資することを目的とする学会。1992年に設立された。

2016年5月1日現在、個人会員553名、団体会員4団体を擁する。毎年1回研究大会、秋の講演会を開催、学術誌『文化経済学』を定期的に発刊する他、各地域で研究会を開催する。国際交流にも力を入れ、2012年には京都で Association for Cultural Economics International (世界各都市で隔年開かれる、文化経済学の国際的研究大会)を運営した。学会ホームページ <http://www.jace.gr.jp/index.html>